

2024年2月18日 主日礼拝 <聖餐式>

司会 ①熊谷兄 ②宮嶋兄 ③中村洋兄(幡地姉)  
祈禱  
奏楽

賛美 聖歌472番「人生の海の嵐に」  
(花咲く野原のように)(主イエスをほめよ)

使徒信条

聖書 ①② マタイによる福音書9章35～38節 (P14)  
③ ヨハネの黙示録3章7～10節 (P389)

音楽 アサリオン(V)

メッセージ ①② 「飼う者のない羊から」 久保田豊副牧師  
③ 「あなたの門は開かれている」 大川従道主任牧師

賛美 「主のみ手にたよる日は」(聖歌503番) 献金  
頌栄 「主にハレルヤ！」アーメン  
祝禱

「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。」  
(マタイ七の七新訳聖書)

【大和ニュース】

☆聖書通読で今週も恵みを頂きましょう！たくさん読んで、お祈りしましょう！

- ・ 本日、SS教師会(12:45シャローム館)、送迎駐車場奉仕会(13:00地下)、モーセ会(ZOOM・14:00)、J.PLUS(14:30森 青年・学生・中高生集合！)
- ・ 第4礼拝(18:00)は船山伝道師「地の塩・世の光」。

- \* 今週の祈禱会も大切に！水曜夜と木曜朝。説教は小山英児先生(聖霊大学)。
- ・ 土曜日は花盛り、アブラハム会駐車場掃除(9:00)、CBS プラス(10:00森チャペル) 会堂掃除(12:00)、聖歌隊(13:30) 見学、参加可。
- \* 来週の責任役員会は12:30から。聖務表からの変更となります。よろしくお祈りします。
- \* 主日礼拝人数 ①62人(201) ②206人(209) ③274人(315) ④20人=1287人  
定例祈禱会 水曜59人(165) 木曜125人(79)=428人 ※()内は YouTube のライブ人数

## 石の枕

祈りの世界はとても不思議だ。ジョージ・ミューラーは、歴史に遺る祈りの器だ。生前は奇跡の毎日であったが、祈りが聞かれなかった事柄も、召天してから、次々に答えられて主の御名を崇めた。

満州で伝道し、『天路歷程』を漢訳し、同地で召されたバウンズという英国の宣教師は次のように語った。「祈りは死なない。祈った人が世を去った後にも、その祈りは後に残って活動しつづける。祈りによって私たちは後世まで子孫に尽くすことができる。祈りは人が後の代に残すことのできる最大の遺産である」。祈りの人、三浦綾子はその祈りをもって生み出された作品群と、祈りそのものによってなお活動しておられます。

長崎で母の受洗した教会を訪ねた。母は祈りの人であった。車も自転車もない生活。家庭訪問はいつも歩き。子どもの教育はいつも祈り。そして再臨信仰。

今回の長崎伝道は、降って湧いたような出来事であった。まさか、自分がカトリックの聖地で語るとは、夢にも思っていなかったこと。大変良い反応を得て、来年の2月5日も説教の依頼が来た。健康に注意して、一年間も毎日祈り続け、長崎中、九州中、沖縄からも集まるような大伝道会をしたい。みなさんも祈りをもって応援して下さい。聖会の後の巨大な虹も主の GO サインに見えた。

自分に与えられている子どもたち、孫たちのことを考えると簡単には死ねない。毎日祈りに祈っているが、祈らされることが多くある。

妻の母親も、熱心な祈りの聖徒であった。主の声をきちんと聞き分けられる信者であった。担当牧師にとっても、それは天来の味方であった。

世界的指揮者小澤征爾さんの死去のニュースが新聞や TV で伝えられた。ファンのひとりとして、握手をし、祈りもした牧師として、明確な救いに導けなかったことに心を痛めているが、上記の祈りの論からいえば、熱心な祈りのお母さまが天において祈りつづけておられると信じて安堵している。それにしても素晴らしい音楽家であり、教育者であった。主のなぐさめを祈り、共に賛美しました。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!  
Aコース:マルコ2章~5章 Bコース:レビ26章~民数記13章